

## 家庭用燃料電池「エネファーム」累計販売台数 40 万台突破について

2021 年 8 月 5 日  
エネファームパートナーズ

エネファーム普及推進協議体「エネファームパートナーズ」（事務局：日本ガス体エネルギー普及促進協議会<sup>※1</sup>）は、家庭用燃料電池「エネファーム」の累計販売台数<sup>※2</sup>が 40 万台を突破したことをお知らせいたします。

エネファームは、都市ガスや LP ガスから取り出した水素と空気中の酸素の化学反応により発電する家庭用燃料電池システムです。発電と同時に排熱を給湯等に利用することで、家庭での省エネ・省 CO<sub>2</sub>に大きく貢献します。

2009 年 5 月 1 日<sup>※3</sup>に世界で初めて家庭用燃料電池として PEFC<sup>※4</sup>タイプが発売されて以降、2011 年の SOFC<sup>※5</sup>タイプの販売開始に加え、マンションに設置できる機種、停電時発電機能を具備した機種、寒冷地に対応した機種、小型化を実現した機種などラインナップの拡充が図られてきました。

また、近年、日本各地で自然災害に伴う大規模停電が発生しておりますが、エネファームの停電時発電機能によって、停電中も携帯電話の充電、冷蔵庫、洗濯機、扇風機など一部の家電や、お湯をお使いいただけただことから、エネファームはその高い省エネ・省 CO<sub>2</sub>性能だけでなく、災害による停電時におけるレジリエンス（強じん性）にも注目が集まっています。

国の政策においても、「エネファーム」は水素社会実現に向けたフロントランナーと位置付けられており、国や地方自治体の導入支援制度が整備されるなどその普及に大きな期待がかけられています。

今後も「エネファームパートナーズ」では、住宅業界、エネファーム製造業界、エネルギー業界が連携し、省エネルギー社会、省 CO<sub>2</sub>社会への貢献に向けて「エネファーム」のさらなる普及拡大に取り組んでまいります。

※1 都市ガスの業界団体である一般社団法人日本ガス協会、LPガスの業界団体である日本LPガス団体協議会、コミュニティーガス（旧簡易ガス）の業界団体である一般社団法人日本コミュニティーガス協会の3団体で構成（通称：コラボ）。

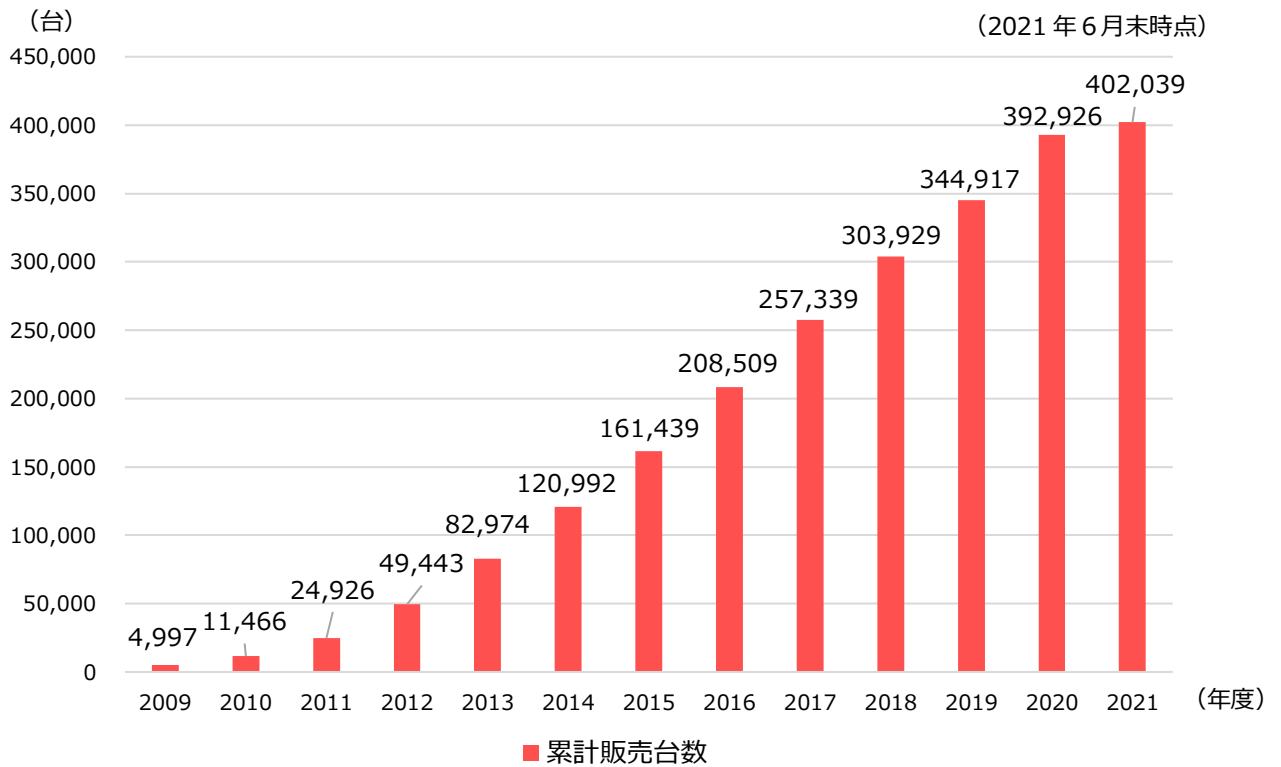
※2 各エネファームメーカーが販売した台数の合計。なお、これまでは補助金交付決定台数等を元に、「累計普及台数」として公表（直近：2021年4月27日に35万台と公表）していたが、今回以降はメーカー販売台数を基に、「累計販売台数」として公表。

※3 東京ガス株式会社が発売開始。

※4 固体高分子形燃料電池（Polymer Electrolyte Fuel Cell）

※5 固体酸化物形燃料電池（Solid Oxide Fuel Cell）


## 「エネファーム」累計販売台数の推移



- ◆ 累計販売台数 (402,039 台) は、各エネファームメーカーが 2021 年 6 月末までに販売した台数の合計 ((一財) コージェネレーション・エネルギー高度利用センター調べ)。
- ◆ これまでは補助金交付決定台数等を元に、「累計普及台数」として公表 (直近: 2021 年 4 月 27 日に 35 万台と公表) していたが、今回以降はメーカー販売台数を基に、「累計販売台数」として公表。

## 「エネファーム」のラインナップ

2009 年の発売開始以降、高効率化・小型化・低コスト化のモデルチェンジが進められるとともに、「マンション向け」や「停電時発電機能付き」などバリエーションが充実しています。

製造メーカー	パナソニック	アイシン	京セラ
外観			
電池形式 (定格出力W) ※6	PEFC (700W)	SOFC (700W)	SOFC (400W)
発電/総合効率 (LHV) ※6 ※7	40.0%/97.0%	55.0%/87.0%	47.0%/80.0%
燃料	都市ガス/LPガス	都市ガス/LPガス	都市ガス (13A) ※8

※6 定格出力、発電/総合効率は、戸建住宅向け都市ガス用の数値。

※7 Lower Heating Value: 低位発熱量基準。

※8 2021 年 8 月 5 日時点では、東京ガス(株)一部エリアでのみ販売。

## 「エネファームパートナーズ」について

「エネファームパートナーズ」は、「エネファーム」の一層の普及を目指し、住宅業界、エネファーム製造業界、エネルギー業界が“業界の枠”を超えて一致団結し、2013年5月に設立されました。2021年7月現在、164団体・事業者で構成されています。



以上